

加賀市 農業委員会 だより

No.12

2023.3 発行

加賀市農業委員会

〒922-8622

加賀市大聖寺南町二 41

加賀市市役所別館 4 階

TEL 0761(72)7915

FAX 0761(72)7991



記事

- **特集** 任期満了に伴い、次期農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。
- 女性委員の登用
- ツキノワグマ生息環境調査

表紙

春を待つ麦畑 / 横北町

農業委員会 女性委員の登用

令和5年11月に農業委員14名、及び農地利用最適化推委員13名の任期満了に伴い、次期農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。

また、国は農業委員に占める女性の割合について、2025年度までに30%の目標を示しており、これを受け、2月21日に県農業会議の女性協議会会長と事務局長が宮元市長及び稲垣議長に女性委員の登用要請をすることとなり、この要請に際し、中村会長が同行しました。



宮元 加賀市長に要請しているところ



稲垣 議長に要請しているところ

加賀市農業委員、 農地利用最適化推委員を

募集します

委員の一期の任期は3年で、令和5年11月12日任期が満了となるため、令和5年の春ごろに、委員の募集を行います。詳細については「かが広報」5月号などに掲載予定しています。

農業委員会は、法律によって市に設置が義務づけられている合議体の行政機関で、行政から独立しており市長の

指揮監督を受けることはありません。
農業委員会の主な仕事

- 農地の売買・貸借などの権利移動、転用許可の審議
- 遊休農地の発生防止と担い手などへの集約化

令和5年度からは、人・農地プランの目標地図の素案作りも、新たに追加されます。

女性委員を増やすには？

また、これに先だって女性の登用について、加賀市の女性委員と中村会長らが意見交換を行いました。



加納 委員
1期3年目

「誰かいませんか？」と言っても出てこないでしょう。それでも、女性だけでなく幅広い意見が出てこなくてはいけないと思います。

女性だけの組織から選出するというのではなく、ほんとは男性委員と同じように出てきてほしい。ただ増やせば良いというわけではなく「居るだけ」でも、というのもおかしいし、経験がないと発言も難しいことも事実で、現状では組織から何人というやり方にならざるを得ないかなと思います。



田端 委員
2期6年目
中立委員

組織から女性委員を選出することについて、例えば婦人会などの組織に「婦人会」という理由で、男性側から特別扱いされるのは嫌です。女性部という組織をわざわざ作っていることに違和感があります。

健康とか食育とか、大事なことだと思えますし、「やっつけて下さい」と言われれば一生懸命勉強してやりますが、女性だから「やっつけて下さい」と言われればそれは違うと思います。



中村 会長

昔と違って、農業経営自体が変わって3〜5町歩ぐらいの経営規模だと、機械化が進んで女性がする仕事が無くなっている。携わる機会がないから農業の事が解らない。

今、出てきてほしい理想の女性像としては、家族協定を結んでいるような女性。次回は若い方で農業法人やっているような若い方や、そんなところで働いている女性に声をかけるのもいいのではないかなと思います。



大家 職務代理

男の人だって全てを知っている訳ではないので、「男だから聞きにくいな」ってこともあると思いますし、田端さんなど女性委員が積極的に質問してくれてありがたかったです。それが

女性目線ということなのかもしれない。

これからの加賀市の農業について

田端委員

これまでは小さい農業や兼業農家が支えて来たのだけど、国の政策は法人向けばかりで寂しいことだと思っていました。しかし、昨今の状況を考えれば、農業法人にシフトしていかなきゃいけないんじゃないかと。であれば、やはり農業法人の女性の方に委員として出て来て頂きたいなと思います。

加納委員

私は逆に大きな法人に頼るばかりでなく、小さな農家も大事にしなければいけないと思います。移住とか、ターンのとかの若い人、ネット直販等もやって、そんな人も参入できるような環境を作ってあげるとか、食育・学校給食と併せ遊休農地を増やさないとかな活動も必要かなと思います。



ツキノワグマ生息環境調査

令和2年度、ドングリ類の凶作により、行動圏を広げたツキノワグマの市街地出没が相次ぎました。

そのため、加賀市はツキノワグマの市街地周辺の生息状況の調査を行いました。令和3年度に引き続き、令和4年6月30日～令和5年1月20日の間、コナラなどツキノワグマの餌となる植物が自生している山間地19か所に、自動撮影カメラを設置し調査しました。



↑自動撮影カメラ



←動物別撮影回数

動物名	撮影回数
ニホンシカ	586
イノシシ	530
タヌキ	199
キツネ	119
ノウサギ	70
カモシカ	63
アナグマ	36
ハクビシン	28
ニホンリス	15
ツキノワグマ	15
ホンドテン	12
ニホンイタチ	4
アライグマ	1

わかったこと

朝8時前後、夕方6時前後に活発な活動がみられ、クマの食性からコナラ群落での撮影記録が多かったです。曾宇町～日谷町、山中温泉～中津原町、栄谷町～横北町などの山間地区での撮影回数が3～4回程度と、その他の地区に比べ頻度が多かったようです。

エサを求めて、今年度豊作であったコナラ群落内を移動しており、スギ林で確認されたものについても、コナラなどのある場所へ移動しているようです。

また、調査を実施した果樹園では、下草刈りなどの管理がされていたため、結果撮影記録はありませんでした。適正な管理をしているところには、山の近くであってもツキノワグマが出没しないと考えられます。

なお今回の調査で、市街地周辺にツキノワグマが定着していない事が判りました。

今後は、カキ、クリなどのエサとなる分布調査も行い、出没や目撃状況と比較することで、不要果樹などの適切な管理に繋がりたいと考えています。



撮影記録に残ったツキノワグマと思われる動物

編集後記

令和5年の幕開けに、10年に1度の強烈寒波の影響で、各地で大雪や厳寒の記録を更新しました。

能登では空き家の水道管が破裂して大変だったようで、人口減少も他人事ではないなと思えました。

とはいえ、冬が過ぎれば春がやってきます。今年はクマに気を付け、山菜取りにチャレンジしてみようかと思っております。